

教育・研究業績書

<b>講座名</b>		
内科学(消化器)		
<b>&lt;教員の紹介&gt;</b>		
教授 平石秀幸	講師 田嶋章弘	
准教授 島田忠人	講師 玉野正也	
講師 飯島誠	講師 室久俊光	
講師 菅家一成	講師 渡邊菜穂美	
講師 笹井貴子	講師 渡辺秀考	
<b>I 教育活動</b>		
<b>教育実践上の主な業績</b>	<b>年月</b>	<b>概要</b>
<b>① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）</b>		
1. 授業の質の向上に対する取り組み	2004年5月～現在	毎年最新の医師国家試験問題の内容（疾患・質問方法・傾向）を吟味し授業内容に反映させたり、前年の授業中に感じた学生の反応などから理解が得られやすい表現方法や説明の順序・関連事項の補足説明などを毎年追加・変更している。またオリジナルの視覚教材をなるべく多く導入し理解を深めてもらう努力をしている。
2. 講義と実習(BSL)の緊密な連携 3. 担当患者を持つことによる学生参加型の実習(BSL) 4. 症例提示による具体的な臨床例での病態生理の把握を中心として診断、治療の理解 5. 重要項目についてのクルズス 6. 内視鏡モデルも使用した学生による内視鏡操作の実習 7. 腹部エコーの実習 8. 4,5も含めて、各種検査の現場からの学習	2004年5月～現在	本からは伝わりにくい患者さんから直接学ばせていただく部分を中心にして学習し、不足分を国家試験対策として、追加学習する。国家試験の問題に、実際の臨床の現場をイメージしながら対応できるレベルを目標の一つとする。

<b>② 作成した教科書、教材、参考書</b>		
オリジナルな教材の作成	2004年5月～現在	授業に使用する教材（講義資料・視覚教材）は成書を参考にすべてオリジナルを作成し、毎年内容を追加・変更しながら更新している。
学生、臨床研修医を通じて使えるコンパクトマニュアルの作成	2004年5月～現在	いわゆるレジデントマニュアルのような教材は、研修医になっても使用でき、学生に要求される知識と医者になってから要求される知識の違いを確認しやすく、国家試験のみならず、臨床研修医になっても使用できる教材になりうる。あくまでも、臨床の現場、患者さんから学ぶ姿勢を基本にする。
<b>③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項</b>		

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
内科学（消化器）	教授	平石 秀幸	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1979年8月～現在	日本内科学会員		
1981年10月～現在	日本消化器病学会員		
1981年10月～現在	日本消化器内視鏡学会員		
1983年5月～現在	日本肝臓学会員		
1989年4月～現在	日本内科学会認定内科医		
1993年4月～現在	日本内科学会指導医		
1993年4月～現在	日本消化器内視鏡学会認定医		
1993年4月～現在	日本肝臓学会認定医		
1993年12月～現在	日本消化器病学会認定医		
1994年5月～現在	日本消化器病学会関東支部評議員		
1996年4月～現在	日本消化器病学会評議員		
1997年11月～現在	米国消化器内視鏡学会（ASGE）国際会員		
1998年7月～現在	米国消化器病学会（AGA）国際会員		
1999年12月～現在	日本消化器内視鏡学会認定専門医		
2003年1月～現在	日本消化器病学会指導医		
2003年4月～現在	日本肝臓学会認定肝臓専門医		
2003年4月～現在	日本肝臓学会指導医		
2003年12月～現在	日本消化器内視鏡学会指導医		
2004年1月～現在	日本消化器病学会認定消化器病専門医		
2004年6月～現在	日本消化管学会員		
2004年12月～現在	日本消化管学会評議員		
2005年1月～現在	日本消化器内視鏡学会関東支部評議員		
2005年3月～現在	日本消化管学会総務委員会委員		
2005年4月～現在	栃木県保健衛生事業団学術委員		
2005年4月～現在	日本消化器病学会広報委員会委員		
2005年10月～現在	日本肝臓学会東部会評議員		
2006年1月～現在	日本消化器病学会財団評議員		
2007年4月～現在	日本内科学会評議員		
2007年11月～現在	日本消化管学会胃腸科認定医		
2008年2月～現在	米国臨床消化器病学会（ACG）国際会員		
2008年6月～現在	独立行政法人医薬品医療機器総合機構専門委員		

### Ⅲ 研究活動

#### 【学位論文】

#### 【著 書】

和文

1. 平石秀幸, 米田政志, 島田忠人, 寺野彰: 消化管 胃・十二指腸疾患 慢性胃炎. Annual Review消化器 2005 : 218-221, 2005
2. 島田忠人, 米田政志, 平石秀幸: 生理と病態 消化と吸収. Annual Review消化器 2005 : 102-105, 2005
3. 平石秀幸, 菅家一成, 渡辺秀考, 米田政志, 島田忠人, 寺野彰: 消化管 胃・十二指腸疾患 慢性胃炎. Annual Review消化器 2006 221-225, 2006

#### 【原 著】

欧文

1. Yoneda M, Kono T, Watanobe H, Tamano M, Shimada T, Hiraishi H, Nakamura K: Central thyrotropin-releasing hormone increases hepatic cyclic AMP through vagal-cholinergic and prostaglandin-dependent pathways in rats. Peptides 26:1573-1579, 2005
2. Yoneda M, Nakamura K, Nakade Y, Tamano M, Kono T, Watanobe H, Shimada T, Hiraishi H, Terano A: Effect of central corticotropin releasing factor on hepatic circulation in rats: the role of the CRF2 receptor in the brain. Gut 54:282-288, 2005
3. Yamagata M, Murohisa T, Tsuchida K, Okamoto Y, Tsunoda S, Nakamura M, Kusano K, Majima Y, Kuniyoshi T, Iijima M, Sugaya H, Hiraishi H: Fulminant B hepatitis in a surface antigen and hepatitis B DNA-negative patient with diffuse large B-cell lymphoma after CHOP chemotherapy plus rituximab. Leuk Lymphoma. 48:431-3, 2007
4. Yoneda M, Fujita K, Inamori M, Tamano M, Hiraishi H, Nakajima A: Transient elastography in patients with non-alcoholic fatty liver disease (NAFLD). Gut. 56:1330-1, 2007

和文

1. 米田政志, 加藤熒一, 中村公英, 横浜吏郎, 小嶋和夫, 室久俊光, 玉野正也, 飯島誠, 菅谷仁, 平石秀幸, 寺野彰: PEG-IFNを用いたC型慢性肝炎に対するインターフェロン治療外来導入の試み. 肝臓 45 : 444-445, 2004
2. 室久俊光, 須藤康司, 岡本裕, 米田政志, 玉野正也, 飯島誠, 平石秀幸, 菅谷仁, 寺野彰: ラミブジン投与中の breakthrough hepatitisが劇症化し死亡したB型慢性肝炎の1例. 肝臓 45 : 378-379, 2004

#### 【症例報告】

和文

1. 平石秀幸: 医療係争事例から学ぶ 大腸内視鏡による穿孔. 日本医師会雑誌 137 : 1894-1895, 2008

#### 【総 説】

和文

1. 平石秀幸, 笹井貴子, 菅家一成, 鈴木保永, 米田政志, 島田忠人, 寺野彰, 太田慎一: 胃潰瘍診療ガイドラインをめぐって NSAID潰瘍(1)治療. 臨床消化器内科 19: 223-229, 2004
2. 平石秀幸, 笹井貴子, 菅家一成, 寺野彰: 慢性の健康問題 消化性潰瘍. 治療 86:251-255, 2004
3. 平石秀幸, 寺野彰: 消化性潰瘍の病因とNSAIDsの役割-NSAIDsと消化性潰瘍. 医学のあゆみ 210: 326-330, 2004
4. 平石秀幸, 島田忠人, 寺野彰: 胃・十二指腸潰瘍の治療-最新ガイドラインの適確な活用法. 推薦処方とその解説 NSAIDs内服中に発症した潰瘍. 今月の治療 12: 651-653, 2004
5. 平石秀幸, 寺野彰: 潰瘍形成のパラダイム 消化性潰瘍の病因としてのNSAIDsの役割 NSAIDsと消化性潰瘍. 医学のあゆみ 210: 326-330, 2004
6. 平石秀幸, 渡辺秀考, 島田忠人, 米田政志: 内科疾患の診断基準病型分類・重症度/ 診断メモ Zollinger-Ellison症候群. 内科 95: 1122, 2005
7. 平石秀幸, 中野道子, 三橋孝宏, 笹井貴子, 渡辺秀考, 菅家一成, 米田政志, 島田忠人, 寺野彰: 胃潰瘍治療と予防 NSAID潰瘍の治療. 治療学 39: 496-500, 2005
8. 平石秀幸, 山形道子, 菅家一成, 渡辺秀考, 米田政志, 島田忠人: NSAID潰瘍とPPI. 潰瘍 33: 74-77, 2006
9. 平石秀幸: アスピリン 改めて注目される古くて新しい薬/suggestion COX-2 阻害薬による消化性潰瘍発生の予防. 治療学 40: 315, 2006
10. 平石秀幸: EBMに基づくNSAIDs潰瘍の予防と治療. NSAIDsの使い方 コツと落とし穴 142-143, 2006
11. 平石秀幸, 山形道子, 米田政志, 島田忠人: NSAID潰瘍 診断・予防・治療の最新動向 NSAID胃粘膜障害 予防・治療 予防・治療のガイドライン. 日本臨床 65: 1812-1817, 2007
12. 平石秀幸, 乾裕子, 山形道子, 菅家一成, 渡辺秀考, 米田政志, 島田忠人. 発症を防げ! NSAID起因性潰瘍. 高崎医学 57: 79-82, 2007
13. 平石秀幸: 胃潰瘍診療ガイドラインにおけるNSAIDs/低用量アスピリン潰瘍の取り扱い. クリニシアン 54: 1226-1232, 2007
14. 平石秀幸, 渡辺秀考, 前田光徳, 山形道子, 田嶋章弘, 菅家一成, 島田忠人: 整形外科医のためのcareとcure RAのtight controlを目指して 整形外科医のための標準薬物治療の基礎知識 NSAID潰瘍の予防と治療のガイドライン. 骨・関節・靭帯 20: 1101-1107, 2007
15. 平石秀幸, 山形道子, 菅家一成, 渡辺秀考, 島田忠人: 日常診療で診る*H. pylori* 消化性潰瘍における*H. pylori*とNSAIDとの関係. 実験治療 688: 21-26, 2007
16. 平石秀幸, 島田忠人, 米田政志, 寺野彰: 消化器癌診療の進歩-消化器癌の診断と治療の新しい展開-. Year note 2008 別冊 SELECTED ARTICLES 119-127, 2007
17. 平石秀幸: 胃腸疾患. 専門領域の最新情報 最新栄養学 (第9版): 712-723, 2007
18. 平石秀幸: 【2 ページで解説! 診療ガイドダイジェスト】 消化器 胃潰瘍. 治療 90 (臨増): 50-51, 2008

【その他】

和文

1. 平石秀幸 : 軽症から中等症の左側型潰瘍性大腸炎あるいは直腸炎に対する上皮成長因子注腸と経口メサラミン併用 (N Engl J Med 350: 350-357, 2003, 日本語抄訳). GI Explore 5: 5, 2004
2. 平石秀幸 : 連日の可溶性アスピリン内服と大腸・直腸腺腫の再発: APACC試験の1年後の結果 (Gastroenterology 126: 328-336, 2003, 日本語抄訳). GI Explore 5: 7, 2004
3. 平石秀幸 : 非出血性露出血管あるいは付着凝血塊を有し, オメプラゾール投与中の患者における出血性潰瘍に対する内視鏡治療の影響 (Ann Intern Med 139:237-243, 2003, 日本語抄訳). GI Explore 5: 9, 2004
4. 平石秀幸 : 骨関節炎の治療におけるロフェコキシブとナプロキセンの消化管耐用性と効果-無作為比較試験 (Ann Intern Med 139: 539-546, 2003, 日本語抄訳). GI Explore 6: 5, 2004
5. 平石秀幸 : Helicobacter pylori除菌と出血性消化性潰瘍の治癒後には維持療法は必要でない-5年間の前向き無作為対象研究 (Arch Intern Med 163: 2020-2024, 2003, 日本語抄訳). GI Explore 6: 7, 2004
6. 平石秀幸 : 重症型潰瘍性大腸炎におけるシクロスポリン静注療法 4mg/kg対 2mg/kgの無作為二重盲検比較試験 (Gastroenterology 125: 1025-1031, 2003, 日本語抄訳). GI Explore 6: 9, 2004
7. 平石秀幸 : CagA陽性と胃癌の関連に関するメタ解析 (Gastroenterology 125: 1636-1644, 2003, 日本語抄訳). GI Explore, 6, 5, 2004
8. 平石秀幸 : クロウン病患者におけるインフリキシマブの安全性: メーヨークリニックにおける 500 症例の経験 (Gastroenterology 125: 19-31, 2003, 日本語抄訳). GI Explore 6: 7, 2004
9. 平石秀幸 : 食道癌の治療におけるリンパ節ステージ診断の影響 (Gastroenterology 125:1626-1635, 2003, 日本語抄訳). GI Explore 6: 9, 2004
10. 平石秀幸 : アスピリンの使用と大腸・直腸癌のリスクに関する前向き研究 (Ann Intern Med 140:157-166, 2004, 日本語抄訳). GI Explore 6: 5, 2004
11. 平石秀幸 : クロウン病におけるインフリキシマブの定期的および偶発的な治療戦略の比較 (Gastroenterology 126: 402-413, 2003, 日本語抄訳). GI Explore 6: 7, 2004
12. 平石秀幸 : 潰瘍性大腸炎における炎症の重症度は大腸・直腸腫瘍発生の危険因子である (Gastroenterology 126: 451-459, 2004, 日本語抄訳). GI Explore 6: 9, 2004
13. 平石秀幸 : Helicobacter pylori除菌はオメプラゾール治療に続く遷延性の酸分泌亢進を引き起こす (Gastroenterology 126: 980-988, 2004, 日本語抄訳). GI Explore 6: 5, 2004
14. 平石秀幸 : 閉経後の女性におけるエストロゲン/プロゲステロン併用と結腸直腸癌 (N Engl J Med 350: 991-1004, 2004, 日本語抄訳). GI Explore 6: 7, 2004
15. 平石秀幸 : アルコール摂取と結腸直腸癌: 集積された8つのコホート研究の分析 (Ann Intern Med 140:603-613, 2004, 日本語抄訳). GI Explore 6: 9, 2004
16. 平石秀幸 : 結腸癌に対する腹腔鏡補助下切除術と開腹切除術の比較 (N Engl J Med 350: 2050-2059, 2004, 日本語抄訳). GI Explore 6: 5, 2004
17. 平石秀幸 : 米国の異なる人種間での胃食道逆流症 (Gastroenterology 126: 1692-1699, 2004, 日本語抄訳). GI Explore 6: 7, 2004
18. 平石秀幸 : Helicobacter pylori除菌は十二指腸潰瘍患者に先在する逆流性食道炎を改善する (Clin Gastroenterol Hepatol 2: 474-479, 2004, 日本語抄訳). GI Explore 6: 9, 2004
19. 平石秀幸 : 切除可能な胃食道癌に対する周術期化学療法と手術単独の比較 (N Eng J Med. 2006;355:11-20, 日本

- 語抄訳). GI Explore 8:5, 2006
20. 平石秀幸 : 再発性の消化管潰瘍合併症の予防のためのアスピリン+エソメプラゾール、クロピドグレルの比較 (Clin Gastroenterol Hepatol. 2006;4:860-865, 日本語抄訳). GI Explore 8:7, 2006
  21. 平石秀幸 : プロトポンプ阻害薬の治療はClostridium difficile関連下痢症のリスクファクターである (Aliment Pharmacol Ther. 2006;24:613-619, 日本語抄訳). GI Explore 8:9, 2006
  22. 平石秀幸 : 女性におけるBMIと胃食道逆流症状 (N Eng J Med. 2006;354:2340-2348, 日本語抄訳). GI Explore 8:5, 2006
  23. 平石秀幸 : 急性胃腸炎は炎症性腸疾患のリスクの増大を伴う (Gastroenterology. 2006;130:1588-1594, 日本語抄訳). GI Explore 8:7, 2006
  24. 平石秀幸 : 甲状腺腫、ヘリコバクターピロリ感染および慢性胃炎におけるサイロキシシン (N Eng J Med. 2006;354:1787-1795, 日本語抄訳). GI Explore 8:9, 2006
  25. 平石秀幸 : 機能性ディスペプシアに対するイトプリドのプラセボ対照試験 (N Eng J Med. 2006;354:832-840, 日本語抄訳). GI Explore 8:5, 2006
  26. 平石秀幸 : カルシウム+ビタミンDの補給と結腸直腸癌のリスク (N Eng J Med. 2006;354:684-696, 日本語抄訳). GI Explore 8:7, 2006
  27. 平石秀幸 : 非アスピリンNSAID市販薬による重篤な上部消化管障害性リスク (Gastroenterology. 2006;129:1865-1874, 日本語抄訳). GI Explore 8:9, 2006
  28. 平石秀幸, 島田忠人 : 単一の菌株が主たる原因となり多施設で集団発生した罹患率と死亡率の高いClostridium difficile関連下痢症 (N Eng J Med. 2005;353:2442-2449, 日本語抄訳). GI Explore 8:5, 2006
  29. 平石秀幸, 島田忠人 : 潰瘍性大腸炎の寛解導入療法におけるインフリキシマブ (N Eng J Med. 2005;353:2462-2476, 日本語抄訳). GI Explore 8:7, 2006
  30. 平石秀幸, 島田忠人 : リンチ症候群における婦人科癌のリスク低減を目的とした予防的手術 (N Eng J Med. 2006;354:261-269, 日本語抄訳). GI Explore 8:9, 2006
  31. 平石秀幸 : 肝硬変患者における食道静脈瘤予防のためのβ遮断薬 (N Eng J Med. 2005;353:2254-2261, 日本語抄訳). GI Explore 8:5, 2006
  32. 平石秀幸 : ナタリズマブによるクローン病の寛解導入と維持療法 (N Eng J Med. 2005;353:1912-1925, 日本語抄訳). GI Explore 8:7, 2006
  33. 平石秀幸 : α4β7インテグリンに対するヒト化抗体による潰瘍性大腸炎の治療 (N Eng J Med. 2005;352:2499-2507, 日本語抄訳). GI Explore 8:9, 2006
  34. 平石秀幸 : リンチ症候群 (遺伝性非ポリポーシス大腸癌) のスクリーニング (N Eng J Med. 2005;352:1851-1860, 日本語抄訳). GI Explore 7:5, 2006
  35. 平石秀幸 : 大腸腫瘍のリスクが平均的な女性における全大腸内視鏡スクリーニング (N Eng J Med. 2005;352:2061-2068, 日本語抄訳). GI Explore 7:7, 2006
  36. 平石秀幸 : 活動性クローン病に対するサルグラモスチム (N Eng J Med. 2005;352:2193-2201, 日本語抄訳). GI

Explore 7:9, 2006

37. 平石秀幸 : 消化性潰瘍出血の治療における経静脈対経口プロトンポンプ阻害薬の費用対効果と経費への影響(Clin Gastroenterol Hepatol. 2006;4:988-997, 日本語抄訳). GI Explore 8:5, 2007
38. 平石秀幸 : 散発性大腸腺腫の予防のためのセレコキシブ (N Eng J Med. 2006;355:873-884, 日本語抄訳). GI Explore 8:9, 2007
39. 平石秀幸 : 直腸癌における術前放射線療法と化学療法の併用 (N Eng J Med. 2006;355:1114-1123, 日本語抄訳). GI Explore 8:13, 2007
40. 平石秀幸 : 進行性腺腫を発見するための結腸直腸癌スクリーニングにおける大腸内視鏡検査 (N Eng J Med. 2006;355:1863-1872, 日本語抄訳). GI Explore 9:5, 2007
41. 平石秀幸 : 抗菌薬関連出血性大腸炎の原因菌としての *Klebsiella oxytoca* (N Eng J Med. 2006;355:2518-2426, 日本語抄訳). GI Explore 9:9, 2007
42. 平石秀幸 : バレット食道の内視鏡グレードシステムの作成と評価 : プラハCおよびM基準 (Gastroenterology. 2006;131:1392-1399, 日本語抄訳). GI Explore 9:13, 2007
43. 平石秀幸 : 大腸内視鏡スクリーニングにおける内視鏡の引き抜き時間と腺腫の検出 (N Eng J Med. 2006;355:2533-2541, 日本語抄訳). GI Explore 9:5, 2007
44. 平石秀幸 : 長期間のプロトンポンプ阻害薬治療と股関節骨折のリスク (JAMA. 2006;296:2947-2953, 日本語抄訳). GI Explore 9:9, 2007
45. 平石秀幸 : 原発性結腸直腸癌切除後の再発を予防するための血液中腫瘍細胞の役割 (Br J Surg. 2007;94:96-105, 日本語抄訳). GI Explore 9:13, 2007
46. 平石秀幸 : 消化管出血患者における内視鏡検査前のオメプラゾール投与 (N Eng J Med. 2007;356:1631-1640, 日本語抄訳). GI Explore 9:5, 2007
47. 平石秀幸 : 新しい選択的COX-2阻害薬の導入と出血性および穿孔性消化性潰瘍での入院の比率 (Aliment Pharmacol Ther. 2007;25:907-912, 日本語抄訳). GI Explore 9:9, 2007
48. 平石秀幸 : メタ解析 : クロウン病における死亡 (Aliment Pharmacol Ther. 2007;25:861-870, 日本語抄訳). GI Explore 9:13, 2007
49. 平石秀幸 : アスピリンとCOX-2発現に関連した大腸癌のリスク (N Eng J Med. 2007;356:2131-2142, 日本語抄訳). GI Explore 9:5, 2007
50. 平石秀幸 : 女性におけるBMIと胃食道逆流症状 (Gut. 2007;56:749-755, 日本語抄訳). GI Explore 9:9, 2007
51. 平石秀幸 : 活動性クローン病における、インフリキシマブと潜在性のウイルス再活性化のリスク (Inflamm Bowel Dis. 2007;13:896-902, 日本語抄訳). GI Explore 9:13, 2007
52. 平石秀幸 : 結腸直腸癌のアジュバント治療におけるロフェコキシブと心血管系の有害事象 (N Eng J Med. 2007;357:360-369, 日本語抄訳). GI Explore 9:5, 2007
53. 平石秀幸 : 胃癌の内視鏡的切除中の胃穿孔と腹膜播種のリスク (Br J Surg. 2007;94:992-995, 日本語抄訳). GI

Explore 9:9, 2007

54. 平石秀幸 : クロウン病治療のためのセルトリズマブ・ペゴル(N Eng J Med. 2007;357:228-238, 日本語抄訳). GI Explore 9:13, 2007
55. 平石秀幸 : スクリーニング大腸内視鏡後の5年の大腸サーベイランス(Gastroenterology. 2007;133:1077-1085, 日本語抄訳). GI Explore 9:5, 2008
56. 平石秀幸 : 進行性腫瘍の検出におけるCTコロノグラフィ対大腸内視鏡検査(N Engl J Med. 2007;357:1403-1412, 日本語抄訳). GI Explore 9:9, 2008
57. 平石秀幸 : 胃バイパス手術後の長期死亡率(N Engl J Med. 2007;357:753-761, 日本語抄訳). GI Explore 9:13, 2008
58. 平石秀幸 : 結腸直腸癌の治療のためのセツキシマブ(N Engl J Med. 2007;357:2040-2048, 日本語抄訳). GI Explore 10:5, 2008
59. 平石秀幸 : 成人の自己免疫性腸症 : メイヨークリニック・ロチェスターの経験(Clin Gastroenterol Hepatol. 2007;5:1282-1290, 日本語抄訳). GI Explore 10:12, 2008
60. 平石秀幸 : 便潜血陽性患者のスクリーニングにおけるコンピューター断層大腸造影の価値は何か? システマティックレビューと経験評価(Clin Gastroenterol Hepatol. 2007;5:1439-1446, 日本語抄訳). GI Explore 10:5, 2008
61. 平石秀幸 : *Helicobacter pylori*感染と食道腫瘍 : メタ解析(Clin Gastroenterol Hepatol. 2007;5:1413-1417, 日本語抄訳). GI Explore 10:12, 2008
62. 平石秀幸 : 経口フッ化ピリミジン系薬剤S-1 を用いた胃癌に対する補助化学療法(N Engl J Med. 2007;357:1810-1820, 日本語抄訳). GI Explore 10:5, 2008
63. 平石秀幸 : FDG-PETは食道癌の最初の管理において超音波内視鏡検査とCT検査に情報を加えるか? 前向き of 単一施設における研究(Am J Gastroenterol. 2008;103:570-574, 日本語抄訳). GI Explore 10:12, 2008
64. 平石秀幸 : 非ステロイド性抗炎症薬の慢性服用者における胃保護戦略の相対的な有効性(Gastroenterology. 2008;134:937-944, 日本語抄訳). GI Explore 10:5, 2008
65. 平石秀幸 : 進行疾患のオピオイド誘発性便秘に対するメチルナルトレキソン(N Engl J Med. 2008;358:2332-2343, 日本語抄訳). GI Explore 10:12, 2008
66. 平石秀幸 : アジア系アメリカ人におけるバレット食道の低い比率(Am J Gastroenterol. 2008;103:1625-1630, 日本語抄訳). GI Explore 10:5, 2008
67. 平石秀幸 : 入院中の炎症性腸疾患患者における *Clostridium difficile* 全国的調査と影響(Am J Gastroenterol. 2008;103:1443-1450, 日本語抄訳). GI Explore 10:12, 2008

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
内科学（消化器）	准教授	島田 忠人	大学院の研究指導担当資格 有
<b>Ⅱ 学会等および社会における主な活動</b>			
2000年4月～現在	日本ヘリコバクター学会評議員		
2000年4月～現在	日本潰瘍学会評議員		
2000年4月～現在	日本消化器病学会関東地方会評議員		
<b>Ⅲ 研究活動</b>			
<b>【学位論文】</b>			
<b>【著 書】</b>			
和文			
1. 島田忠人, 米田政志: non-ulcer dyspepsia. 黒川清, 寺本民生編, EBM内科処方指針 中外医学社, pp352-354, 2004.			
2. 島田忠人, 吉浦健太, 米田政志, 平石秀幸, 寺野彰: H. pylori陽性のすべての胃・十二指腸潰瘍患者さんを除菌すべきですか? 浅香正博, 川野淳編, Helicobacter pylori除菌療法 先端医学社, pp113-115, 2004.			
3. 島田忠人, 米田政志, 平石秀幸: 消化と吸収. 戸田剛太郎他編, Annual Review 消化器 中外医学社, pp102-105, 2005.			
4. 島田忠人, 山形道子, 米田政志, 平石秀幸: NSAIDs潰瘍の発症頻度とその対策. 後藤信哉編, 臨床現場におけるアスピリン使用の実際, 南江堂, pp83-94, 2006.			
<b>【原 著】</b>			
欧文			
1. Koitabashi A, Shimada T, Fujii Y, Hashimoto T, Hosaka K, Tabei K, Namatame T, Yoneda M, Hiraishi H, Terano A: Indometacin up-regulates TFF2 expression in gastric epithelial cells. Aliment Pharmacol Ther Suppl 1:171-176, 2004.			
2. Shimada T, Koitabashi A, Fujii Y, Hashimoto T, Hosaka K, Tabei K, Namatame T, Yoneda M, Hiraishi H, Terano A: PPARgamma mediates NSAIDs-induced upregulation of TFF2 expression in gastric epithelial cells. FEBS Lett 558: 33-38, 2004.			
3. Koike T, Shimada T, Fujii Y, Chen G, Tabei K, Namatame T, Yamagata M, Tajima A, Yoneda M, Terano A, Hiraishi H: Up-regulation of TFF1 (pS2) expression by TNF-alpha in gastric epithelial cells. J Gastroenterol Hepatol 22: 936-942, 2007.			
4. Shimada T, Koike T, Yamagata M, Yoneda M, Hiraishi H: Regulation of TFF3 expression by homeodomain protein CDX2. Reg Pep 140: 81-87, 2007.			
5. Shimada T, Fujii Y, Koike T, Tabei K, Namatame T, Yamagata M, Tajima A, Yoneda M, Terano A, Hiraishi H: Peroxisome proliferator-activated receptor gamma (PPARgamma) regulates trefoil factor family 2 (TFF2)			

expression in gastric epithelial cells.

和文

1. 藤井陽一郎, 島田忠人 : 胃粘膜上皮細胞におけるtrefoil factor family 1 (TFF1) 発現に影響を与える因子に関する検討. Dokkyo J Med Sci 32: 29-37, 2005.
2. 小池健郎, 島田忠人 : 胃粘膜上皮細胞のTFF1 発現に対する cAMP/Protein kinase A経路の影響. Dokkyo J Med Sci 34: 35-42, 2007.
3. 鈴木真琴, 島田忠人 : 胃粘膜上皮細胞のトレフォイルファクタ (TFF) およびムチンコア蛋白 (MUC) 発現に対するSOX2 の影響. Dokkyo J Med Sci 36: 47-58, 2009.

### 【症例報告】

### 【総 説】

欧文

1. Fujii Y, Shimada T, Koike T, Hosaka K, Tabei K, Namatame T, Tajima A, Yoneda M, Terano A, Hiraishi H: Regulation of TFF1 (pS2) expression in gastric epithelial cells. Aliment Pharmacolo Ther symp ser 2: 285-291, 2006.

和文

1. 島田忠人, 平石秀幸 : プロトンポンプを標的とした胃粘膜病態制御. 医学の歩み 208: 428-432, 2004.
2. 島田忠人, 藤井陽一郎, 米田政志, 平石秀幸, 寺野彰 : Helicobacter pylori の遺伝子診断Sugery Frontier 11 : 54-58, 2004.
3. 島田忠人, 藤井陽一郎, 保坂久美, 田部井恭子, 生田目貴, 米田政志, 平石秀幸, 菅谷仁, 寺野彰 : PPARgamma を介した胃粘膜上皮細胞TFF2 発現誘導機序について. 胃分泌研究会誌 36: 41-44, 2004.
4. 島田忠人, 藤井陽一郎, 小池健郎, 米田政志, 平石秀幸 : Helicobacter pyloriの新たな病原性 鉄欠乏性貧血. 臨床と微生物 32: 155-159, 2005.
5. 島田忠人, 藤井陽一郎, 米田政志, 平石秀幸, 寺野彰 : NSAIDsによる胃粘膜上皮細胞TFF2 の発現誘導. Ulcer Research 32 : 19-22, 2005.
6. 島田忠人, 小池健郎, 田嶋章弘, 米田政志, 平石秀幸 : 除菌治療が勧められる疾患 十二指腸潰瘍. 日本臨床 63 (増刊号 11) : 264-267, 2005.
7. 島田忠人, 米田政志, 平石秀幸 : 炎症性腸疾患とPPARgamma. Mebio 22: 34-38, 2005.
8. 島田忠人, 平石秀幸 : Helicobacter pylori関連疾患と最新のエビデンス 鉄欠乏性貧血. EBMジャーナル 7: 734-738, 2006.
9. 島田忠人, 山形道子, 米田政志, 平石秀幸 : アスピリン治療に伴う消化性潰瘍のリスクをどう考えるか? Heart View 10: 1422-1425, 2006.
10. 島田忠人, 山形道子, 平石秀幸 : NSAID胃粘膜傷害 予防・治療 H. pylori除菌. 日本臨床 65: 1824-1829, 2007.
11. 島田忠人, 平石秀幸 : 鉄欠乏性貧血とH. pylori. 日本臨床 66: 584-589, 2008.

## 教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
内科学（消化器）	講師	飯島 誠	大学院の研究指導担当資格 有
<b>Ⅱ 学会等および社会における主な活動</b>			
1986年5月～現在	日本消化器病学会員		
1986年10月～現在	日本消化器内視鏡学会員		
1988年5月～現在	日本肝臓学会員		
1989年5月～現在	日本内科学会員		
1994年12月～現在	日本消化器病学会認定医		
1996年4月～現在	日本肝臓学会認定肝臓専門医		
2003年9月～現在	日本内科学会指導医		
2004年12月～現在	日本内科学会認定内科医		
<b>Ⅲ 研究活動</b>			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
和文			
1. 米田政志, 加藤奨一, 中村公英, 横浜吏郎, 小嶋和夫, 室久俊光, 玉野正也, <u>飯島誠</u> , 菅谷仁, 平石秀幸, 寺野彰. PEG-IFNを用いたC型慢性肝炎に対するインターフェロン治療外来導入の試み. 肝臓, 45:444-445, 2004			
2. 小嶋和夫, 玉野正也, 小池健郎, 乾裕子, 橋本敬, 眞島雄一, 国吉徹, 室久俊光, <u>飯島誠</u> , 米田政志, 菅谷仁, 寺野彰, 平石秀幸. 肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法後の局所再発予測因子についての検討. Dokkyo Journal of Medical Sciences, 32:143-148, 2005			
【症例報告】			
和文			
1. 室久俊光, 須藤康司, 岡本裕, 米田政志, 玉野正也, <u>飯島誠</u> , 平石秀幸, 菅谷仁, 寺野彰. ラミブジン投与中の breakthrough hepatitisが劇症化し死亡したB型慢性肝炎の1例. 肝臓, 45:378-379, 2004			
2. 藤井陽一郎, 鈴木保永, 石川潤, 須藤康司, 米倉悦子, 小坂橋綾子, 中野道子, 三橋孝宏, 知花洋子, 笹井貴子, 生沼健司, 菅家一成, 渡辺秀考, 渡辺喜人, <u>飯島誠</u> , 平石秀幸, 寺野彰:ブチルロシアノアクリレートを用いた内視鏡硬化療法が有効であった出血性十二指腸静脈瘤の2例. Dokkyo Journal of Medical Sciences 32; 63-69, 2005			
3. 佐久間敦, 北順二, 加藤正人, 降籙誠, 尾田典隆, 岡田としえ, 窪田敬一, 眞島雄一, <u>飯島誠</u> , 寺野彰, 大倉康男, 小島勝: C型肝炎患者に発生した肝悪性リンパ腫の1例および本邦報告例の文献的考察. 日本消化器病学会雑誌, 102:712-717, 2005			
4. 寺内政也, 菅家一成, 吉竹直人, 塩屋雄史, 眞島雄一, 小嶋和夫, 笹井貴子, 渡辺秀考, 玉野正也, <u>飯島誠</u> , 平石秀幸. 保存的に治療しえた門脈血栓を合併する上腸間膜静脈血栓症の1例. Dokkyo Journal of Medical Sciences,			

34:231-238, 2007

5. 鈴木真琴, 室久俊光, 荒井大輔, 眞島雄一, 國吉徹, 小嶋和夫, 玉野正也, 飯島誠, 菅谷仁, 平石秀幸. 多核巨細胞性肝炎の組織像を呈した自己免疫性肝炎の1例. 肝臓, 50:65-70, 2009

#### 【総 説】

和文

1. 飯島誠, 寺野彰: 特集 肝細胞癌治療の新しい展開 血管造影・TAE, Mebio vol 21 No.7 40-47 2004
2. 飯島誠, 菅谷仁, 平石秀幸: 肝癌. Dokkyo Journal of Medical Sciences 32:229-239, 2005

#### 【そ の 他】

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
内科学（消化器）	講師	菅家 一成	大学院の研究指導担当資格 有
<b>Ⅱ 学会等および社会における主な活動</b>			
1998年12月～現在	日本消化器内視鏡学会	専門医	
1999年1月～現在	日本消化器病学会	専門医	
2001年8月～現在	米国消化器内視鏡学会	国際会員	
2005年1月～現在	日本消化器病学会関東支部	評議員	
2005年9月～現在	日本内科学会	認定医	
2005年11月～現在	日本消化器内視鏡学会関東支部	評議員	
2007年9月～現在	日本内科学会	指導医	
2007年11月～現在	日本消化管学会	胃腸病専門医	
2007年12月～現在	日本消化器内視鏡学会	指導医	
2008年1月～現在	日本医師会認定産業医		
2008年1月～現在	日本消化器病学会	指導医	
<b>Ⅲ 研究活動</b>			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
1. <u>Kanke K</u> , Nakano N, Hiraishi H, Terano A: Clinical evaluation of granulocyte/monocyte apheresis therapy for active ulcerative colitis. Digestive and Liver Disease vol.36:811-817, 2004.			
2. Fukuda Y, Matsui T, Suzuki Y, <u>Kanke K</u> , Matsumoto T, Takazoe M, Matsumoto T, Motoya S, Honma T, Sawada K, Yao T, Shimoyama T1, Hibi T. Adsorptive Granulocyte and Monocyte Apheresis for Refractory Crohn' s Disease: An Open Multicentre Prospective Study. J Gastroenterol 39:1158-1164, 2004.			
3. Hanai H, Iida T, Takeuchi K, Watanabe F, Maruyama Y, Andoh A, Tsujikawa T, Fujiyama Y, Matsuyama K, Sata M, Yamada M, Iwaoka Y, <u>Kanke K</u> , Hiraishi H, Hirayama K, Arai H, Yoshii S, Uchijima M, Nagata T, and Koide Y. Curcumin Maintenance Therapy for Ulcerative Colitis: Randomized Multicenter, Double-Blind, Placebo-Controlled Trial. Clin Gastroenterol Hepatol 4:1502-1506, 2006.			
4. <u>Kanke K</u> , Hoshino M, Tominaga K, Terano A, Hiraishi H: Selection of anticoagulants for leukocytapheresis therapy in cases of active ulcerative colitis. Blood Purif. 25:370-376, 2007.			
5. Tagaya N, Kasama K, Inamine S, Zaha O, <u>Kanke K</u> , Fujii Y, Kanehira E, Hiraishi H, Kubota K: Evaluation of Excluded Stomach by Double-Balloon Endoscopy after Laparoscopic Roux-en-Y Gastric Bypass. Obesity Surgery 17: 1165-1170, 2007.			
【症例報告】			

欧文

1. Yamamoto K, Tominaga K, Kanke K, Iijima M, Abe A, Shimoda M, Kubota K, Hiraishi H: EDUCATION AND IMAGING Hepatobiliary and pancreatic:Arteriovenous malformation of the pancreas. J Gastroenterology and Hepatology 23, 498, 2008.

和文

1. 藤井陽一郎, 鈴木保永, 石川潤, 須藤康司, 米倉悦子, 小坂橋綾子, 中野道子, 三橋孝宏, 知花洋子, 笹井貴子, 生沼健司, 菅家一成, 渡辺秀考, 渡辺喜人, 飯島誠, 平石秀幸, 寺野彰:ブチル-シアノアクリレートを用いた内視鏡硬化療法が有効であった出血性十二指腸静脈瘤の2例. Dokkyo Journal of Medical Sciences 32: 63-69, 2005
2. 小池健郎, 菅家一成, 石川潤, 森田賀津雄, 笹井貴子, 渡辺秀考, 鈴木保永, 平石秀幸:経過中に黄色腫様形態を呈した早期胃癌の一例. Dokkyo Journal of Medical Sciences 34:63-68, 2007.
3. 藤井陽一郎, 菅家一成, 寺内政也, 小嶋和夫, 平石秀幸, 多賀谷信美, 窪田敬一:腹腔鏡下Roux-Y胃バイパス術の術後空置胃に対するダブルバルーン小腸内視鏡を用いたスクリーニング検査の経験-第1報-. Dokkyo Journal of Medical Sciences 34:119-125, 2007.
4. 寺内政也, 菅家一成, 吉竹直人, 塩屋雄史, 眞島雄一, 小嶋和夫, 笹井貴子, 渡辺秀考, 玉野正也, 飯島誠, 平石秀幸: 保存的に治療しえた門脈血栓を合併する上腸管膜静脈血栓症の1例. Dokkyo Journal of Medical Sciences 34:231-238, 2007
5. 菅谷武史, 富永圭一, 渡辺秀考, 菅家一成, 室久俊光, 増山仁徳, 中村哲也, 菅谷 仁, 平石秀幸: H. pylori除菌抵抗性MALTリンパ腫に対して放射線療法は有効であった1例. Progress of Digestive Endoscopy 72:64-65, 2008.
6. 前田光徳, 菅家一成, 平石秀幸: 消化器疾患に対する内視鏡診療の進歩 詳細な診断法 小腸内視鏡. Pharma Medica 27:P25-28, 2009.
7. 鈴木真琴, 菅家一成, 大木 了, 富永圭一, 小嶋和夫, 平石秀幸:下血を契機に発見されたHermansky-Pudlak症候群の家族内発症例. 大腸肛門病学会雑誌 62:243-249, 2009.

【総 説】

和文

1. 菅家一成, 笹井貴子, 平石秀幸, 寺野彰, 小野祐子, 藤盛孝博: 図説 胃・十二指腸潰瘍の臨床的特徴. 日本臨床 62:p424-426, 2004.
2. 中村哲也, 白川勝朗, 中野道子, 菅家一成: 特集: 内視鏡これが基本だ 小腸の内視鏡検査-カプセル内視鏡. 消化器内視鏡 16:p399-401, 2004.
3. 菅家一成, 笹井貴子, 平石秀幸, 寺野彰: 特集 日常病にどう対応しますか?-頻度順に考える症状/疾病の対処法-B. 主訴から医師が下した健康問題 3) 胃炎, 胃の機能障害, 消化性潰瘍. 治療 86:p137(761)-140(764), 2004.
4. 菅家一成, 中野道子, 平石秀幸: 血球成分除去療法. Mebio 21:p110-114, 2004.
5. 白川勝朗, 中村哲也, 中野道子, 菅家一成, 平石秀幸, 寺野彰: カプセル内視鏡. Mebio Oncology 1:p84-87, 2004.
6. 中野道子, 菅家一成, 平石秀幸, 白川勝朗, 中村哲也, 寺野彰: カプセル内視鏡による炎症性腸疾患診断の展望. 治療学 38:, 2004.
7. 白川勝朗, 中村哲也, 山岸秀嗣, 中野道子, 菅家一成, 下田渉, 菅谷仁, 平石秀幸, 寺野彰: カプセル内視鏡による小腸病変の診断. 胃と腸 40:p1483-1490, 2005.
8. 白川勝朗, 中村哲也, 中野道子, 菅家一成, 平石秀幸, 寺野彰: 小腸病変の診断と治療 カプセル内視鏡によるスクリー

ニング. 内科 96:p687-689, 2005.

9. 白川勝朗, 中村哲也, 山岸秀嗣, 中野道子, 菅家一成, 平石秀幸, 寺野彰: 内視鏡の読み方 カプセル内視鏡の読み方 カプセル内視鏡検査の手順. 臨床消化器内科 20:p1457-1461, 2005.
10. 白川勝朗, 中村哲也, 山岸秀嗣, 中野道子, 菅家一成, 平石秀幸, 寺野彰: ここまできた小腸内視鏡 カプセル内視鏡による小腸疾患の診断. 消化器内視鏡 17:p473-479, 2005.
11. 中村哲也, 白川勝朗, 山岸秀嗣, 中野道子, 菅家一成, 菅谷仁, 平石秀幸, 寺野彰: 消化器疾患のトピックス カプセル内視鏡を用いた新しい検査. The GI Forefront 1:p66-69, 2005.
12. 中村哲也, 白川勝朗, 中野道子, 菅家一成, 平石秀幸, 寺野彰: 総論 消化管出血に対する画像診断法と今後の展開 カプセル内視鏡. 胃と腸 40:p491-498, 2005.
13. 菅家一成, 中野道子, 平石秀幸: 特集: 炎症性腸疾患 (IBD) 治療の進歩 血球成分除去療法. Mebio 22:p103-107, 2005.

#### 【その他】

和文

1. 中村哲也, 白川勝朗, 山岸秀嗣, 中野道子, 菅家一成, 平石秀幸, 寺野彰: 日本におけるカプセル内視鏡の現状. ENDOSCOPIC FORUM for digestive disease 21:pp130-135, 2005.

## 教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
内科学（消化器）	講師	笹井 貴子	大学院の研究指導担当資格 有
<b>Ⅱ 学会等および社会における主な活動</b>			
1992年6月～現在	日本内科学会員 日本消化器病学会員 日本消化器内視鏡学会員		
<b>Ⅲ 研究活動</b>			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
和文			
1. Watanabe H, Hiraishi H, Koitabashi A, <u>Sasai T</u> , Kanke K, Oinuma T, Otsuka Y, Watanabe Y, Suzuki Y, Terano A: Endoscopic balloon dilation for treatment of common bile duct stones. Hepatogastroenterology 51:652-657, 2004			
【症例報告】			
和文			
1. 藤井陽一郎、鈴木保永、石川潤、須藤康司、米倉悦子、小坂橋綾子、中野道子、三橋孝宏、知花洋子、 <u>笹井貴子</u> 、生沼健司、菅家一成、渡辺秀考、渡辺喜人、飯島誠、平石秀幸、寺野彰：ブチル-2-シアノアクリレートを用いた内視鏡的硬化療法が有効であった出血性十二指腸静脈瘤の2例。獨協医学会雑誌 32:63-69, 2005			
2. 寺内政也、菅家一成、吉竹直人、塩屋雄史、眞島雄一、小嶋和夫、 <u>笹井貴子</u> 、渡辺秀考、玉野正也、飯島誠、平石秀幸：保存的に治療しえた門脈血栓を有する上腸間膜静脈血栓症の1例。獨協医学会雑誌 34:231-238, 2007			
【総 説】			
【そ の 他】			
和文			
1. <u>笹井貴子</u> 、平石秀幸、中村哲也、白川勝朗：症例に学ぶ 消化器疾患のリスクマネジメント 消化器内科におけるリスクマネジメント. G. I. research 13:223-227, 2005			
2. 平石秀幸、中野道子、三橋孝宏、 <u>笹井貴子</u> 、渡辺秀考、菅家一成、米田政志、寺野彰：胃潰瘍と予防 NSAID潰瘍の治療. 治療学 39:496-500, 2005			

教育・研究業績書

講座名 内科学（消化器）	職名 講師	氏名 田嶋 章弘	大学院の研究指導担当資格 有
<b>Ⅱ 学会等および社会における主な活動</b>			
2008年1月～現在	日本消化器病学会関東支部評議員		
<b>Ⅲ 研究活動</b>			
<p>【学位論文】</p> <p>【著 書】</p> <p>和文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 田嶋章弘、島田忠人、平石秀幸：EBMに基づく胃潰瘍診療ガイドラインQ&amp;A、胃潰瘍ガイドラインの適応と評価に関する研究班編、107-109、じほう、東京 2008.</li> <li>2. 田嶋章弘、島田忠人、平石秀幸：EBMに基づく胃潰瘍診療ガイドラインQ&amp;A、胃潰瘍ガイドラインの適応と評価に関する研究班編、124-125、じほう、東京 2008.</li> </ol> <p>【原 著】</p> <p>欧文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>Tajima A</u>, Hess M, Cabrera BL, Kolodner RD, Carethers JM: The mismatch repair complex hMutS<math>\alpha</math> recognizes 5-fluorouracil modified DNA: implications for chemosensitivity and resistance. Gastroenterology 127:1678-1684, 2004.</li> <li>2. Iwamoto M, Hoffenberg EJ, Carethers JM, Doctolero R, <u>Tajima A</u>, Sugano K, Franklin WA, Ahnen DJ: Nuclear accumulation of beta-catenin occurs commonly in the epithelial cells of juvenile polyps. Pediatr Res 57:4-9, 2005.</li> <li>3. Satia J, Galanko JA, Keku TO, <u>Tajima A</u>, Doctolero RT, Sandler RS, Carethers JM: Diet and genomic instability in the north carolina colon cancer study. Cancer Epidemiol Biomarkers Prev 14:429-436, 2005.</li> <li>4. Fujii Y, Shimada T, Koike T, Hosaka K, Tabei K, Namatame T, <u>Tajima A</u>, Yoneda M, Terano A, Hiraishi H: Review article: regulation of TFF1 (pS2) expression in gastric epithelial cells. Aliment Pharmacol Ther symp ser 2, 285-291, 2006.</li> <li>5. Shimada T, Fujii Y, Koike T, Tabei K, Namatame T, Yamagata M, <u>Tajima A</u>, Yoneda M, Terano A, Hiraishi H: Peroxisome proliferator-activated receptor gamma (PPAR gamma) regulates trefoil factor family 2 (TFF2) expression in gastric epithelial cells. Int J Biochem Cell Biol 39:626-637, 2007.</li> </ol>			

6. Tajima A, Koizumi K, Suzuki K, Higashi N, Takahashi M, Shimada T, Terano A, Hiraishi H, Kuwayama H: Proton pump inhibitors and recurrent bleeding in peptic ulcer disease. J Gastroenterol Hepatol. Suppl. 2;S237-241, 2008.

和文

1. 田嶋章弘、猪瀬享代、高木美幸、西村奈美子、島田忠人、平石秀幸、桑山肇. 消化性潰瘍に対する緊急内視鏡. 消化器内視鏡 18:1517-1520, 2006.
2. 田嶋章弘、島田忠人、平石秀幸、桑山肇. Barrett 食道の病態と診断. 消化器の臨床 9: 531-534, 2006.
3. 田嶋章弘. ウイルス性肝炎の患者さんへのわかりやすい説明のために. Current Review of Gastroenterology 11:15, 2007.
4. 田嶋章弘、島田忠人、寺野彰、平石秀幸. 選択的COX-2 阻害薬の臨床—潰瘍病変、出血病変の頻度. GI Research 15:41-45, 2007.
5. 田嶋章弘、島田忠人、寺野彰、平石秀幸. 期待されるCOX-2 阻害薬 COX-2 阻害薬と消化管障害. 治療学 41:23-26, 2007.
6. 高橋盛男、片山裕視、鈴木一義、田嶋章弘、岡茂樹、小泉和人、市村博紀、桑山肇. PPI-test. 日本臨床 65:852-863, 2007.
7. 田嶋章弘、東奈央子、島田忠人、平石秀幸. Barrette腺癌とサーベイランス. モダンフィジシャン 28: 989-993, 2008.

#### 【総 説】

和文

1. 島田忠人、小池健郎、田嶋章弘、米田政志、平石秀幸 : H. pylori 除菌と消化性潰瘍・関連疾患-基礎・臨床研究のアップデート-VII. 除菌対象疾患 除菌治療が勧められる疾患 十二指腸潰瘍. 日本臨床 63:264-268, 2005.

#### 【そ の 他】

欧文

1. Carethers JM, Chung H, Tajima A: Mismatch repair competency predicts 5-fluorouracil effectiveness on patients survival. Proceeding of Falk symposium #158, 2007.
2. Tajima A, Shimada T, Hiraishi H: Comment on “High-dose intravenous esomeprazole may reduce recurrent peptic ulcer bleeding in Ann Intern Med. Published online February 17, 2009.” Medscape Medical News March 11, 2009.

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
内科学（消化器）	講師	玉野 正也	大学院の研究指導担当資格 有

**Ⅱ 学会等および社会における主な活動**

1985年5月～現在	日本内科学会員
1985年5月～現在	日本消化器病学会員
1985年5月～現在	日本消化器内視鏡学会員
1985年5月～現在	日本肝臓学会員
1987年5月～現在	日本超音波医学会員
1992年9月～現在	日本内科学会認定内科医
1994年12月～2008年3月	日本内科学会認定内科専門医
1995年12月～2005年12月	日本消化器病学会認定医
1997年4月～2007年3月	日本肝臓学会認定医
1997年10月～現在	日本超音波学会認定超音波専門医
1997年12月～2002年11月	日本消化器内視鏡学会認定医
2001年12月～現在	日本消化器病学会関東支部評議員
2002年11月～現在	日本肝臓学会東部会評議員
2002年12月～現在	日本消化器内視鏡学会認定専門医
2003年4月～現在	日本肝臓学会指導医
2003年10月～現在	日本臨床生理学会員、同評議員
2006年1月～現在	日本消化器病学会専門医、同指導医、同学会評議員
2007年4月～現在	日本肝臓学会認定肝臓専門医
2007年12月～現在	日本消化器内視鏡学会指導医
2008年4月～現在	日本内科学会総合内科専門医

**Ⅲ 研究活動**

【学位論文】

【著 書】

【原 著】

欧文

1. Tamano M, Yoneda M, Kojima K, Hashimoto T, Murohisa T, Majima Y, Kusano K, Nakamura T, Sugaya H, Terano A. Evaluation of esophageal varices using contrast-enhanced coded harmonic ultrasonography, J Gastroenterol Hepatol, 19, 572-5, 2004
2. Yoneda M, Kono T, Watanobe H, Tamano M, Shimada T, Hiraishi H, Nakamura K. Central thyrotropin-releasing hormone increases hepatic cyclic AMP through vagal-cholinergic and prostaglandin-dependent pathways in rats, Peptides, 26, 1573-9, 2005

3. Yoneda M, Nakamura K, Nakade Y, Tamano M, Kono T, Watanobe H, Shimada T, Hiraishi H, Terano A. Effect of central corticotropin releasing factor on hepatic circulation in rats: the role of the CRF2 receptor in the brain, *Gut*, 54,282-8,2005
4. Yoneda M, Fujita K, Inamori M, Tamano M, Hiraishi H, Nakajima A. Transient elastography in patients with non-alcoholic fatty liver disease (NAFLD), *Gut*, 56,1330-1,2007
5. Murakami N, Tamano M, Yoneda M, Sugaya H, Hiraishi H. Des-gamma-carboxy prothrombin (DCP) ratio is a useful prognostic tumor marker for single nodule hepatocellular carcinoma (HCC), *Hepatogastroenterology*, 55,197-201,2008
6. Yoneda M, Mawatari H, Fujita K, Endo H, Iida H, Nozaki Y, Yonemitsu K, Higurashi T, Takahashi H, Kobayashi N, Kirikoshi H, Abe Y, Inamori M, Kubota K, Saito S, Tamano M, Hiraishi H, Maeyama S, Yamaguchi N, Togo S, Nakajima A. Noninvasive assessment of liver fibrosis by measurement of stiffness in patients with nonalcoholic fatty liver disease (NAFLD), *Dig Liver Dis*, 40,371-8,2008

和文

3. 米田政志, 加藤奨一, 中村公英, 横浜吏郎, 小嶋和夫, 室久俊光, 玉野正也, 飯島誠, 菅谷仁, 平石秀幸, 寺野彰. PEG-IFNを用いたC型慢性肝炎に対するインターフェロン治療外来導入の試み. *肝臓*, 45:444-445, 2004
4. 玉野正也, 小嶋和夫, 菅谷仁, 平石秀幸, 寺野彰. 薬物による耐糖能障害 経皮的エタノール注入療法. *日本臨床*, 63:338-340, 2005
5. 小嶋和夫, 玉野正也, 小池健郎, 乾裕子, 橋本敬, 眞島雄一, 国吉徹, 室久俊光, 飯島誠, 米田政志, 菅谷仁, 寺野彰, 平石秀幸. 肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法後の局所再発予測因子についての検討. *Dokkyo Journal of Medical Sciences*, 32:143-148, 2005

【症例報告】

欧文

1. Tamano M, Hashimoto T, Kojima K, Yoneda M, Watanabe H, Hoshino T, Matsuura A, Shioya C, Sugaya H, Hiraishi H. Left-sided hepatic hydrothorax diagnosed by contrast-enhanced ultrasonography with intraperitoneal injection of Levovist, *J Med Ultrasonics*, 35,129-132,2008
2. Majima Y, Tamano M, Sasai T, Maeda M, Yamagishi H, Fujii Y, Terauchi M, Sugaya H, Hiraishi H. A case of uveal melanoma with liver metastasis 6 years after enucleation of the left eye ball, *Dokkyo Journal of Medical Sciences*, 36,59-64,2009

和文

1. 室久俊光, 須藤康司, 岡本裕, 米田政志, 玉野正也, 飯島誠, 平石秀幸, 菅谷仁, 寺野彰. ラミブジン投与中の breakthrough hepatitisが劇症化し死亡したB型慢性肝炎の1例. *肝臓*, 45:378-379, 2004
2. 寺内政也, 菅家一成, 吉竹直人, 塩屋雄史, 眞島雄一, 小嶋和夫, 笹井貴子, 渡辺秀考, 玉野正也, 飯島誠, 平石秀幸. 保存的に治療しえた門脈血栓を合併する上腸間膜静脈血栓症の1例. *Dokkyo Journal of Medical Sciences*, 34:231-238, 2007
3. 小嶋和夫, 熊谷今日子, 内園まり子, 藤井陽一朗, 小池健郎, 草野浩治, 渡辺秀考, 室久俊光, 玉野正也, 平石秀

幸. Mesalazineによる薬剤性膵炎を合併した腸管Behcet病の1例. Dokkyo Journal of Medical Sciences, 35:121-125, 2008

4. 鈴木真琴, 室久俊光, 荒井大輔, 眞島雄一, 國吉徹, 小嶋和夫, 玉野正也, 飯島誠, 菅谷仁, 平石秀幸. 多核巨細胞性肝炎の組織像を呈した自己免疫性肝炎の1例. 肝臓, 50:65-70, 2009

#### 【総 説】

和文

1. 玉野正也, 小嶋和夫, 菅谷仁, 平石秀幸, 寺野彰. 薬物による耐糖能障害 経皮的エタノール注入療法. 日本臨床, 63:338-340, 2005
2. 寺野彰, 菅家一成, 白川勝朗, 玉野正也, 米田政志, 中村哲也, 島田忠人, 平石秀幸. 消化性潰瘍の診断と治療. 日本内科学会雑誌, 94:1711-1722, 2005
3. 中村哲也, 白川勝朗, 山岸秀嗣, 中野道子, 菅家一成, 玉野正也, 菅谷仁, 平石秀幸, 寺野彰. 医学と医療の最前線 カプセル内視鏡. 日本内科学会雑誌, 94:1640-1646, 2005
4. 米田政志, 玉野正也, 島田忠人, 平石秀幸, 中村公英. プライマリ・ケア医のためのNAFLDの診かた 非アルコール性脂肪性肝疾患への対応と最新知見、NAFLDの診断 プライマリ・ケアでの診断を中心に. 治療, 89:1631-1638, 2007
5. 中村哲也, 生沼健司, 渡辺秀考, 室久俊光, 玉野正也, 平石秀幸, 寺野彰. 超高齢者消化管癌に対する光線力学的療法(PDT)の有用性と問題点. 消化器内視鏡, 20:1722-1727, 2008

#### 【そ の 他】

和文

1. 玉野正也, 小嶋和夫, 寺野彰. 肝細胞癌治療法の新しい展開、局注療法. Mebio, 21:22-28, 2004
2. 玉野正也, 小嶋和夫, 平石秀幸. 早期膵癌の診断・治療の進歩、腹部超音波. Mebio, 22:23-28, 2005

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
内科学（消化器）	講師	室久 俊光	大学院の研究指導担当資格 有
<b>Ⅱ 学会等および社会における主な活動</b>			
2006年1月～現在	日本消化器病学会学会評議員		
2006年1月～現在	日本肝臓学会東部会評議員		
2004年4月～現在	日本消化器内視鏡学会関東支部評議員		
<b>Ⅲ 研究活動</b>			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
和文			
1. 小嶋和夫、玉野正也、小池健郎、乾裕子、橋本敬、真島雄一、国吉徹、 <u>室久俊光</u> 、飯島 誠、米田政志、菅谷仁、寺野彰、平石秀幸：肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法後の局所再発予測因子についての検討. 獨協医学会誌 143-148、2005.			
【症例報告】			
和文			
1. 小嶋和夫、熊谷今日子、内園まり子、藤井陽一朗、小池健郎、草野浩治、渡辺秀考、 <u>室久俊光</u> 、玉野正也、平石秀幸：Mesalazineによる薬剤性膵炎を合併した腸管Behcetの1例 獨協医学会誌 121-125 2008.			
2. 藤井陽一朗、小嶋和夫内園まり子、西福康之、人見玄洋、真島雄一、 <u>室久俊光</u> 、平石秀幸：骨シンチグラムにて beautiful bone scanを呈した胃癌の播種性骨髄癌症の1例 獨協医学会誌 113-120 2008.			
【総 説】			
和文			
1. <u>室久俊光</u> 、菅谷 仁：インターフェロン療法と腹腔鏡、組織所見 Mebio22：63-67、2005.			
2. <u>室久俊光</u> :肝胆膵疾患入門 Picture Tests 監修 寺野 彰、編集 菅谷 仁、メディカルレビュー社 東京2006.			
3. <u>室久俊光</u> 、菅谷 仁、中野正和、橋本 敬、玉野正也、飯島 誠、平石秀幸：肝硬変の成因別実態2008 :肝硬変の成因別実態2008 恩地森一 中外医学社 東京 2008.			
4. <u>室久俊光</u> : 日本消化器内視鏡学会専門医学術試験問題とその解説第122回 Gastrointest Endosc ;50:1375-1377, 2008.			
【そ の 他】			
和文			

1. 中村哲也、生沼健司、渡辺秀考、室久俊光、玉野正也、平石秀幸、平石秀幸、寺野彰：高齢者消化器癌に対する光線力学的療法(PDT)の有用性と問題点 消化器内視鏡 1722-1727, 2008.

## 教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
内科学（消化器）	講師	渡邊 菜穂美	大学院の研究指導担当資格 有
<b>Ⅱ 学会等および社会における主な活動</b>			
1991年6月～現在	日本消化器病学会員		
1991年6月～現在	日本内科学会員		
1991年6月～現在	日本消化器内視鏡学会		
1996年6月～現在	日本肝臓学会員		
2000年4月～現在	日本消化器がん検診学会員（旧日本消化器検診学会）		
2004年10月～現在	日本消化管学会員		
<b>Ⅲ 研究活動</b>			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
1. Watanabe H, <u>Watanabe N</u> , Ogura R, Nishino N, Saifuku Y, Hitomi G, Okamoto Y, Tominaga K, Yoshitake N, Yamagata M, Orui M, Hiraishi H: A Randomised prospective trial comparing unsedated endoscopy via transnasal and transoral using 5.5mm video endoscopy. Dig Dis Sci 2008.			
和文			
1. 辰巳嘉英, 本田浩仁, 足立聡, 岡村誠介, 河合隆, 児島辰也, 下河辺宏一, 中田博也, 原田明子, 森昭裕, 森潔, 松浦哲生, 安田貢, 吉田行哉, 渡邊謙一, <u>渡邊菜穂美</u> : 経鼻内視鏡による上部消化管スクリーニングの現状と問題点 14施設のアンケート調査結果から. 日本消化器がん検診学会雑誌 47: 217-226, 2009.			
【症例報告】			
【総 説】			
和文			
1. <u>渡邊菜穂美</u> , 平石秀幸: 日常診療での疑問や噂にズバリ答えます! The Truth of Rumors】 診療手技・検査 健診でピロリ菌を検査することに意義があるのか? 治療 88: 613-619, 2006.			
2. <u>渡邊菜穂美</u> , 平石秀樹, 寺野彰: 【健康診断をめぐって】 健康診断と疾病 健康診断における消化管検査の目的と方法. 総合臨床 55:1483-1487, 2006.			
3. 渡辺秀考, <u>渡邊菜穂美</u> , 小倉利恵子, 西福康之, 人見玄洋, 岡本裕, 大類方巳, 中村哲也: 【経鼻内視鏡は本当に楽なのか?】 極細径経口内視鏡との比較. 消化器内視鏡 20:419-425, 2008.			

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
内科学（消化器）	講師	渡辺 秀考	大学院の研究指導担当資格 有
<b>Ⅱ 学会等および社会における主な活動</b>			
1990年5月～現在	日本内科学会員		
1990年5月～現在	日本消化器病学会員		
1990年5月～現在	日本消化器内視鏡学会員		
2007年5月～現在	日本消化管学会員		
<b>Ⅲ 研究活動</b>			
<b>【学位論文】</b>			
<b>【著 書】</b>			
<b>【原 著】</b>			
欧文			
1. <u>Watanabe H</u> , Hiraishi H, Koitabashi A, Sasai T, Kanke K, Oinuma T, Otsuka Y, Watanabe Y, Suzuki Y, Terano A: Endoscopic papillary balloon dilation for treatment of common bile duct stones. Hepatogastroenterology 51: 652-7, 2004.			
2. <u>Watanabe H</u> , Yoneda M, Tominaga K, Monma T, Kanke K, Shimada T, Terano A, Hiraishi H: Comparison between endoscopic papillary balloon dilatation and endoscopic sphincterotomy for the treatment of common bile duct stones. J Gastroenterol 42: 56-62. 2007.			
3. <u>Watanabe H</u> , Watanabe N, Ogura R, Nishino N, Saifuku Y, Hitomi G, Okamoto Y, Tominaga K, Yoshitake N, Yamagata M, Orui M, Hiraishi H. A Randomized Prospective Trial Comparing Unsedated Endoscopy via Transnasal and Transoral Routes Using 5.5-mm Video Endoscopy. Dig Dis Sci. 11: 2008. [Epub ahead of print]			
4. Hitomi G, <u>Watanabe H</u> , Tominaga K, Yoshitake N, Suzuki M, Maeda M, Yamagata M, Kanke K, Nakamura T, Masuyama H, Hiraishi H. Endoscopic submucosal dissection in 100 lesions with early gastric carcinoma. Hepatogastroenterology 56:254-60, 2009.			
<b>【症例報告】</b>			
和文			
1. 藤井陽一朗, 鈴木保永, 石川潤, 須藤康司, 米倉悦子, 小板橋綾子, 中野道子, 三橋孝宏, 知花洋子, 笹井貴子, 生沼健司, 菅家一成, <u>渡辺秀考</u> , 渡辺喜人, 飯島誠, 平石秀幸, 寺野彰: プチル-2-シアノアクリレートを用いた内視鏡的硬化療法が有効であった出血性十二指腸静脈瘤の2例. Dokkyo Journal of Medical Sciences 32 63-69, 2005.			
2. 寺内政也, 菅家一成, 吉竹直人, 塩屋雄史, 眞島雄一, 小嶋和夫, 笹井貴子, <u>渡辺秀考</u> , 玉野正也, 飯島誠, 平石秀幸: 保存的に治療しえた門脈血栓を合併する上腸間膜静脈血栓症の1例. Dokkyo Journal of Medical Sciences:			

34 231-238, 2007.

3. 小池健郎, 菅家一成, 石川潤, 森田賀津雄, 笹井貴子, 鈴木保永, 渡辺秀考, 平石秀幸: 経過中に黄色腫様形態を呈した早期胃癌の一例. Dokkyo Journal of Medical Sciences 34 63-68, 2007.
4. 渡辺秀考, 人見玄洋, 平石秀幸: 【診断ピットフォール 症例から学ぶ】 消化器 下血 下血の原因として小腸腫瘍も忘れずに. 内科 99 1244-1245, 2007.
5. 渡辺秀考, 人見玄洋, 平石秀幸 【診断ピットフォール 症例から学ぶ】 消化器 下血 肝硬変の合併症として十二指腸静脈瘤も忘れずに: 内科 99 1241-1243 2007.
6. 菅谷武史, 富永圭一, 渡辺秀考, 菅家一成, 室久俊光, 増山仁徳, 中村哲也, 菅谷仁, 平石秀幸: H. pylori除菌抵抗性MALTリンパ腫に対して放射線療法が有効であった1例. Progress of Digestive Endoscopy: 72 64-65, 2008.
7. 小嶋和夫, 熊谷今日子, 内園まり子, 藤井陽一朗, 小池健郎, 草野浩治, 渡辺秀考, 室久俊光, 玉野正也, 平石秀幸: Mesalazineによる薬剤性膵炎を合併した腸管Behcet病の1例. Dokkyo Journal of Medical Sciences: 35 121-125, 2008.

## 【総 説】

和文

1. 渡辺秀考, 平石秀幸: 【がん】 胃癌(解説/特集). Dokkyo Journal of Medical Sciences 32:163-171, 2005.
2. 渡辺秀考, 平石秀幸: 【内科疾患の診断基準病型分類・重症度】 消化管 食道癌の診断基準・病型分類・重症度(解説/特集) 内科 95 Page1072-1076, 2005.
3. 平石秀幸, 山形道子, 菅家一成, 渡辺秀考, 米田政志, 島田忠人: NSAID潰瘍とPPI(解説). 潰瘍 33:74-77, 2006.
4. 渡辺秀考, 平石秀幸, 寺野彰:日本のプライマリ・ケア よくある健康問題 100】 疾患編 どう関わる?悪性腫瘍 15 食道癌(解説/特集) 総合臨床 55 巻増刊 Page1061-1066, 2006.
5. 渡辺秀考, 菅家一成, 森田賀津雄, 平石秀幸 【日常診療での疑問や噂にズバリ答えます! The Truth of Rumors】 消化管 内視鏡的にポリペクトミーを行うときには抗血小板や抗凝固薬は中止すべきなのか?(解説/特集). 治療 88 巻 3月増刊 1034-1036, 2006.
6. 平石秀幸, 山形道子, 菅家一成, 渡辺秀考, 島田忠人: 【日常診療で診るH. pylori】 消化性潰瘍におけるH. pyloriとNSAIDとの関係. 実験治療 688: 21-26, 2007.
7. 平石秀幸, 渡辺秀考, 前田光徳, 山形道子, 田嶋章弘, 菅家一成, 島田忠人: 【整形外科医のためのcareとcure RAのtight controlを目指して】 整形外科医のための標準薬物治療の基礎知識 NSAID潰瘍の予防と治療のガイドライン. 骨・関節・靭帯 20: 1101-1107, 2007.
8. 平石秀幸, 乾裕子, 山形道子, 菅家一成, 渡辺秀考, 米田政志, 島田忠人: 発症を防げ! NSAID起因性潰瘍. 高崎医学 57: 79-82 2007.
9. 渡辺秀考, 渡辺菜穂美, 小倉利恵子, 西福康之, 人見玄洋, 岡本裕, 大類方巳, 中村哲也, 平石秀幸: 【経鼻内視鏡は本当に楽なのか?】 極細径経口内視鏡との比較 消化器内視鏡 20: 419-425 2008.
10. 中村哲也, 生沼健司, 渡辺秀考, 室久俊光, 玉野正也, 平石秀幸, 寺野彰: 【超高齢者の内視鏡】 超高齢者消化管癌に対する光線力学的療法(PDT)の有用性と問題点. 消化器内視鏡 20: 1722-1727, 2008.
11. 増山仁徳, 石田基雄, 森田賀津雄, 藤井陽一朗, 小嶋和夫, 鈴木保永, 漆原邦之, 鈴木卓爾, 渡辺秀考, 平石秀幸: Helicobacter pylori陽性胃潰瘍に対する除菌治療後のマレイン酸イルソグラジンによる潰瘍治療効果の検討. Therapeutic Research 29: 415-422 2008.

【その他】